



第 2569 回 2021.10.6

- ビジター紹介
1. 福井県立大学名誉教授 大竹 臣哉様 (おおたけ しんや) 様
  2. 岩上幸二会員 長女 岩上 祐子 (いわかみ ゆうこ) 様
  3. " 次女 藤松 真紀 (ふじまつ まき) 様

### ご挨拶 岩上祐子様



この度は、父の葬儀に際し過分なお心遣いを頂きありがとうございました。遺族を代表しお礼を申し上げます。

父は 8 月 16 日未明に自宅で脳内出血のため倒れ病院に運ばれました。入院当初は命に別状はありませんでしたが、9 月の最初の土曜日に急変しました。

日曜日には母そして親族にも会うことができ、その晩の 9 月 7 日 (火) 未明に息を引き取りました。

父はロータリークラブが生き甲斐でした。その中でも、とりわけ桃園 RC に関しては思い入れが強く毎年の公式訪問を楽しみにしておりました。コロナ禍で訪問も叶わず、皆様にお会いすることができないことがわかった時は、本当に残念に思っておりました。

『また来年いけるから、今は我慢だよ!!』と励ましておりましたが、大好きだった桃園に行くことができなくなるとは、本人も家族も夢にも思っておませんでした。

皆様で父の思い出話をして頂けましたら父も喜ぶと思います。数十年にわたり暖かく受け入れて頂き、また父を愛してくださりありがとうございました。世界的なパンデミック状態は続いておりますが、皆様方のご健康、そして幸手ロータリークラブのご発展を心からお祈りいたします。

## 会長挨拶



皆様こんにちは。

まず、本日の例会におきましても ZOOM というオンラインでの開催でありながら多くの会員の皆様にご参加をいただきまして誠にありがとうございます。7月からの理事会例会において皆様には本当にご不便をお掛けしましたが、本日の理事会において10月20日の例会から会場での通常の例会に戻すということで決定をいたしました。食事もお出ししますのです是非ご参加のほどよろしく願いいたします。20日には会場皆様とお会いできることを楽しみにしております。

本日はお客様としまして岩上祐子様、卓話の願いをいたしました福井県立大学名誉教授大竹臣哉様ようこそ幸手ロータリークラブ例会にお越しいただきましてありがとうございます。本日はよろしく願いいたします。

さて、9月に入ってからなかなか例会が通常に戻らない中ではありましたがその中でも地区のセミナーが毎週のように開催をされて

おります。委員会セミナーにおいては関会長エレクト、会員増強佐伯委員長、青木弘会員、ロータリー財団山口委員長、国際奉仕小山委員長、米山伊藤委員長、社会奉仕谷野委員長、RLI パート I において梨本ガバナーノミニ、関会長エレクト、谷野委員長が受講をしていただきました。そして紙本幹事、梨本ガバナーノミニにおかれましては全セミナーに参加をいただいております。

このようにお名前を挙げても例会がままならない中本当に多くの会員の皆様にご参加をいただいております。本当に感謝しかありません。私が参加をしても毎回コンスタントに数名参加しているクラブはないように見えています。事務局を通じてですが第7グループの進藤ガバナー補佐からも幸手クラブの参加には非常に鼻が高いと言っているようです。本当にありがとうございます。

今年の感謝の思いは来年以降お返ししたいと思っております。ただ皆様に借りすぎて自己破産をしてしまうのではないかと心配です。そんな思いの中で今年会長として何ができるのかずっと考えていますが、自分が幸手ロータリークラブの会員であることを誇りに思えるような活動をしていこうと考えています。地区からも地域からも目置かれるような存在にすることが恩返しかなと。そんな中で先日の社会奉仕セミナーにおいて今年度各クラブで行った奉仕事業、予定している事業を事前アンケートとして提出をしました。その集計がこの資料です。見て分かるように返答があったのは49クラブでおそらく他はコロナ禍という理由から明記する事業がなかったのかなと。そんな中幸手クラブの欄がこのように赤線で囲ってありました。これは2770地区で明らかに多くの事業を実施しているということから地区の社会奉仕委員会で印をし、セミナーの中で幸手が突出していると発表をされておりました。コロナ禍でのこの幸手の取り組みを委員会で特集したいと仰っておりましたのでその際には皆様楽しみにしててください。言ったからには逃がさないと思っていますので。

これは一例として今後も胸を張れる活動を目指してゴール地点を照らしていきますのでラスト9ヶ月共に歩んでいただければと思っています。

毎回のようになりましたが本日の例会もよろしく願いいたします。

## 理事会・幹事報告 紙本瑞基幹事

議 題	内 容
例会について	10月20日以降、会緊急事態宣言解除後は通常例会
世界ポリオデーについて	10月24日(日) クラシックカーラリー・トレインジャック・ウォークラリー開催
桃園式典参加について	11月6日(土) 夜間例会式で ZOOM 参加を検討
地区大会について	11月14日(日) 事前に食事をするかを含め出欠を確認。店舗の確認
クリスマス例会について	12月11日(土) 地元開催にこだわらず親睦委員会で企画
ロータリーカップ開催について	11月14日(日) サッカー近隣大会をロータリーカップにネーム変更 サッカー協会も承認。表彰参加、サッカーボールの寄贈、横断幕作成 予算 10万円程度
世界大会について	2022年6月4日アメリカテキサス州ヒューストン開催 6月5日ガバナーナイト。2023年のメルボルンでの世界大会は幸手が 主催です。是非皆様参加してください
次年度地区役員出向推薦について	柳沼会員、小川会員に決定
青少年交換留学について	次年度来日学生のホストファミリーを募集

## ニコニコBOX

### ニコニコBOX・財団BOX

	合 計	累 計
ニコニコBOX	0	81,000
結婚記念日祝	0	0
ビジターフィー	0	0

### 本日の出席率

会員数	出席者数 (出席免除 13名)	暫定出席率
46名	リアル 4名 リモート 16名 メイクアップ 6名	80.08%

## 卓 話

福井県立大学名誉教授 大竹臣哉 様

### 幸手の地下水はどのように誕生したか—幸手は原始海だった



本講演では、幸手の水道水をテーマにして一部を地下水に頼っていることから、この地下水に焦点を絞って、将来的にどうすればよいのかを考えたいと思います。まず、古い時代にさかのぼり、そして現在の地下水の現状を探り、将来豊かな地下水をどうしたいのかを考えたいと思います。

幸手の上水道は匂いがついていて、飲むと非常にまずい。市の担当者に水道水の由来を聞くと、河川水と地下 100~200m からくみ上げた地下水を混合しているとのこと、幸手市周辺の市町は大方この仕組みとのことでした。地下水はろ過されてくるので、ほとんど匂いや味がしないはずだが、河川水の影響を避けるためにいろいろと化学物質を混ぜているためと想像できます。できれば、飲料水は化学物質に頼らない自然ろ

過の地下水にしてもらいたいものです。この地下水の深さ 200m という数字は、ちょうど今の東京湾の入り口付近の水深と同じで、地質時代で見ると、川の河口部付近だったことが想像できます。河口部付近ということは海の後退時期すなわち氷河期時代、まだ東京湾が川だったころだと想像できます。温暖化により間氷期となり（つまり現代）海進が進み、再び海の中に没して今日の地形になります。この氷河期時代にできた川の流れですが、後退期にあたり栃木県の古河市付近まで海だったようです。河口付近ならば、河床は泥成分が多くなり、堆積して泥岩が積み重なっていると予想されます。

それから、海進が進みながら火山活動による降灰や河川からの大量の土砂流出による埋没などによって、地形が生まれ現在の土地が生まれたものと想像できます。すると、出土される岩石は花崗岩や砂岩、泥岩が想像されて、遺跡に花崗岩が多いのも納得できます。有名な吉見百穴がそれにあたります。河口付近だったので、栄養は豊かで、耕作地として利用されていたとも想像できます。古墳が行田あたりに多いのも、豪族が栄えたものと理解できます。では、海水由来だから塩分が地下水に残っているはず。その通りと思います。しかし、圧倒的に多い山からの淡水のおかげで、塩分は出ないでしょう。山からの出水の減少や周辺地域からの出水が増えると、塩分が出てくるでしょう。次に、現在の地下水について探ってみると、意外に幸手市内よりも幸手市内への流入量が関係してくることがわかりました。

今後、地下水で飲料水を賄おうとするならば、幸手への流入量を管理すべきと考えます。